

# 2018年3月期 中間決算説明会資料

株式会社島津製作所

代表取締役社長 上田輝久

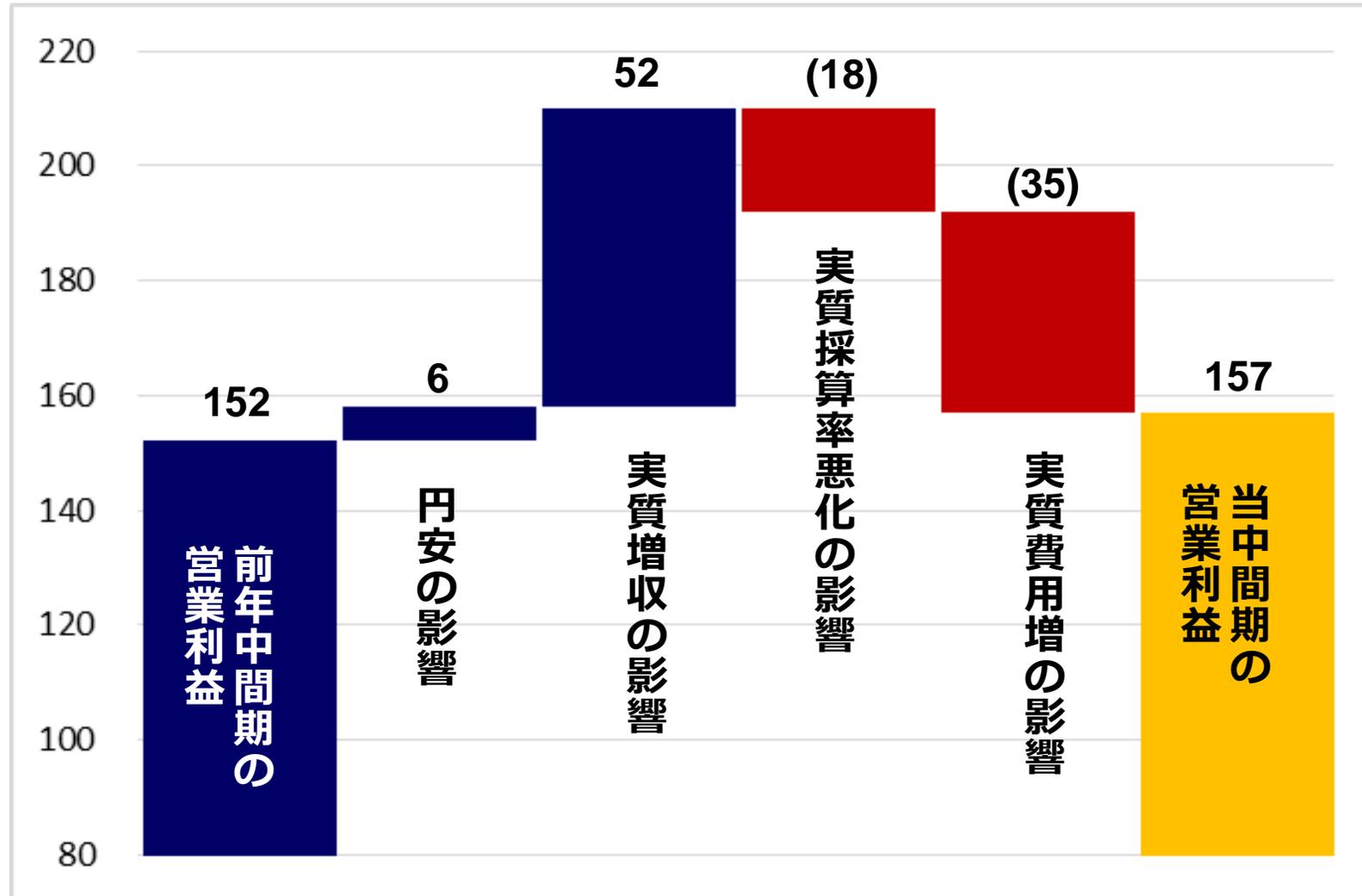
# 損益計算書

- \* 売上高は1,721億円 (前年同期比 173億円増, +11.2%), 営業利益は157億円 (5億円増, +3.3%)
- \* 売上高から純利益までの全ての項目で過去最高を更新
- \* 新中計に沿った積極的な戦略的投資を実施

単位：億円, 除く営業利益率, EPS	中間期		前年同期比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
売上高	1,721	1,548	173	11.2%	128	8.3%
営業利益	157	152	5	3.3%	(1)	-0.6%
営業利益率	9.2%	9.9%	0.7ポイント悪化			
経常利益	156	146	10	7.1%		
親会社株主に帰属する純利益	113	103	10	9.6%		
EPS	¥38.41	¥35.03	¥3.38	9.6%		
期中平均為替レート	US\$	¥111.13	¥105.33	¥5.80	5.5%	
	€	¥126.33	¥118.20	¥8.13	6.9%	
為替影響額						
売上高			45			
営業利益			6			

※営業利益の「為替影響額」「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益の消去額を含む。

## 利益増減要因



# 事業セグメント別損益

- \* 全セグメントで増収、また計測・医用・産業は増益
- \* 特に産業が大幅増益、OPMは9%を超える
- \* 計測の増益額は、新中計でのヘルスケア等の戦略的投資加速の影響で小幅にとどまる

単位：億円		中間期				前年同期比増減				
		2018.3期		2017.3期		円ベース			除く為替影響	
		額	営業利益率	額	営業利益率	額	率	営業利益率	額	率
計測機器	売上高	1,040	13.8%	937	15.1%	103	11.0%	1.3pt.	72	7.7%
	営業利益	144		142		2	1.3%	悪化	(1)	-0.8%
医用機器	売上高	306	2.2%	295	1.8%	11	3.7%	0.4pt.	4	1.3%
	営業利益	7		5		1	27.0%	改善	1	10.0%
航空機器	売上高	132	-1.7%	118	-0.3%	14	11.7%	1.4pt.	12	9.8%
	営業利益	(2)		(0)		(2)	—	悪化	(0)	—
産業機器	売上高	205	9.1%	165	6.8%	39	23.8%	2.3pt.	35	21.1%
	営業利益	19		11		7	66.4%	改善	4	34.3%
その他	売上高	38	2.8%	32	8.9%	6	18.2%	6.1pt.	6	18.2%
	営業利益	1		3		(2)	-63.6%	悪化	(2)	-63.6%
営業利益調整額		(10)	—	(9)	—	(1)	—			
合計	売上高	1,721	9.2%	1548	9.9%	173	11.2%	0.7pt.	128	8.3%
	営業利益	157		152		5	3.3%	悪化	(1)	-0.6%

※営業利益の「為替影響額」「除く為替影響」には、たな卸資産未実現利益の消去額を含む。

## 計測機器/ サブセグメント売上高及び

## 製品・アフターマーケット売上高

- \* 売上高1040億円で過去最高、前年同期比11.0%増
- \* LC・MS・GCは、いずれも、前年同期比10%以上の増加
- \* 製品・アフターマーケットともに10%以上の増加
- \* アフターマーケット比率は0.3ポイント拡大し28.5%に向上

単位：億円		中間期		前年同期比増減			
		2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
				額	率	額	率
サブセグメント	液体クロマトグラフ (LC)	302	269	32	12.0%	20	7.6%
	質量分析装置 (MS)	181	157	24	15.3%	18	11.3%
	ガスクロマトグラフ(GC)	103	94	10	10.6%	6	6.8%
	その他	455	418	37	8.9%	27	6.5%
合計		1,040	937	103	11.0%	72	7.7%
製品・アフター	製品	744	673	71	10.5%		
	アフターマーケット	297	264	32	12.2%		
アフターマーケット比率		28.5%	28.2%	0.3ポイント向上			
合計		1,040	937	103	11.0%		

# 医用機器/ サブセグメント売上高及び

## 製品・アフターマーケット売上高

\*売上高306億円で過去最高、前年同期比3.7%増

\*主力のX線撮影システムが内外で好調に推移、日本・北米・中国・東南アジアで拡大

\*製品・アフターマーケットともに4%増、アフターマーケット比率は30%以上を維持

単位：億円		中間期		前年同期比増減			
		2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
				額	率	額	率
サブセグメント	X線診断システム	220	217	4	1.7%	(2)	-1.0%
	X線撮影システム	117	99	18	17.9%	14	14.5%
	X線TVシステム	74	84	(10)	-12.0%	(12)	-14.3%
	血管撮影システム	29	33	(4)	-11.7%	(4)	-13.4%
	その他	86	79	7	9.2%	6	7.7%
合計		306	295	11	3.7%	4	1.3%
製品・ アフター	製品	209	201	8	3.7%		
	アフターマーケット	98	94	3	3.7%		
アフターマーケット比率		31.8%	31.8%	増減なし			
合計		306	295	11	3.7%		

# 航空機器/サブセグメント売上高

\*売上高132億円、前年同期比11.7%増

\*国内防衛事業は、新型哨戒機（P-1）・新型輸送機（C-2）の量産に向け搭載機器が拡大

\*一方民間航空機器事業は、ボーイング777などの一時的な減産の影響で減少

単位：億円	中間期		前年同期比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
防衛	111	96	15	15.6%	14	14.3%
民間航空機	20	22	(1)	-5.4%	(2)	-10.5%
合計	132	118	14	11.7%	12	9.8%

## 産業機器/ サブセグメント売上高及び

## 製品・アフターマーケット売上高

\*売上高205億円、前年同期比23.8%増

\*ターボ分子ポンプが牽引、半導体・FPD製造装置に向け拡大を継続

\*油圧機器も回復基調を辿る

単位：億円		中間期		前年同期比増減			
		2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
				額	率	額	率
サブセグメント	ターボ分子ポンプ	89	60	30	50.1%	27	45.3%
	油圧機器	63	56	6	11.3%	6	10.0%
	その他	53	49	3	6.4%	1	1.9%
合計		205	165	39	23.8%	35	21.1%
製品・アフター	製品	182	142	40	28.3%		
	アフターマーケット	22	23	(1)	-3.8%		
アフターマーケット比率		10.9%	14.0%	3.1ポイント低下			
合計		205	165	39	23.8%		

## 地域別売上高

- \* 日本で7.2%増、海外では15.1%増。海外が牽引して拡大
- \* 官需に加え民需も好調な中国は、28.5%と大幅に拡大
- \* 海外売上高比率は51.9%、前年同期比1.8ポイント向上

単位：億円	中間期		前年同比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
日本	827	772	56	7.2%	55	7.1%
米州	225	207	18	8.9%	8	3.9%
北米	197	185	12	6.3%	3	1.4%
欧州	125	114	11	9.9%	4	3.6%
中国	329	256	73	28.5%	57	22.1%
その他のアジア	164	153	11	7.3%	4	2.5%
その他*	51	47	4	7.9%	1	1.8%
合計	1,721	1,548	173	11.2%	128	8.3%
海外売上高	893	776	117	15.1%	73	9.5%

\* 「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

## 地域別売上高/ 日本

\* 全事業セグメントで増収

\* 計測機器：医薬・化学にLC、自動車に試験機、また官公需にGC、これらを中心に拡大

\* 医用機器：X線撮影システムが診療所に向け拡大

\* 航空機器：防衛省の新型哨戒機（P-1）・新型輸送機（C-2）の量産に向け搭載機器が増加

\* 産業機器：ターボ分子ポンプの拡大が持続、油圧機器も回復

単位：億円	中間期		前年同期比増減	
	2018.3期	2017.3期	額	率
計測機器	407	389	18	4.7%
医用機器	171	165	6	3.6%
航空機器	111	96	15	15.6%
産業機器	100	89	11	11.9%
その他	38	32	6	18.2%
合計	827	772	56	7.2%

## 地域別売上高/ 北米

- \* 計測機器：臨床・化学・官公庁向けのMSは堅調、一部案件の進捗遅れなどで微減（現地通貨）
- \* 医用機器：診療報酬改定によるデジタル化促進の追い風で、デジタル回診用装置は堅調に推移
- \* 産業機器：ターボ分子ポンプが半導体製造大手に向け大幅に拡大

単位：億円	中間期		前年同期比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
計測機器	108	104	4	3.7%	(1)	-0.7%
医用機器	43	42	0	1.0%	(2)	-4.3%
航空機器	18	20	(2)	-9.8%	(3)	-14.6%
産業機器	28	19	9	49.9%	8	42.6%
合計	197	185	12	6.3%	3	1.4%

## 地域別売上高/ 欧州

- \* 計測機器：製薬・食品向けにLC・MSが堅調に推移
- \* 医用機器：東欧で血管撮影システムが堅調に推移、西欧は市況低迷
- \* 産業機器：ターボ分子ポンプは好調に推移、一方、ガラスワインダなどの大口案件が減少

単位：億円	中間期		前年同期比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
計測機器	104	91	14	15.3%	8	8.7%
医用機器	12	15	(3)	-21.7%	(4)	-26.7%
産業機器	8	8	0	0.4%	(0)	-4.5%
合計	125	114	11	9.9%	4	3.6%

## 地域別売上高/ 中国

- \* 計測機器：食品安全、受託分析、環境規制分野が活況、LC・MS・GC・環境機器が2桁の増加
- \* 医用機器：デジタル化推進を背景にX線撮影システムが拡大
- \* 産業機器：TMPの大幅な拡大が持続、油圧機器も拡大

単位：億円	中間期		前年同期比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
計測機器	252	204	47	23.2%	34	16.8%
医用機器	31	29	2	7.2%	0	1.6%
産業機器	46	22	23	x 2.0	22	97.0%
合計	329	256	73	28.5%	57	22.1%

## 地域別売上高/ その他のアジア

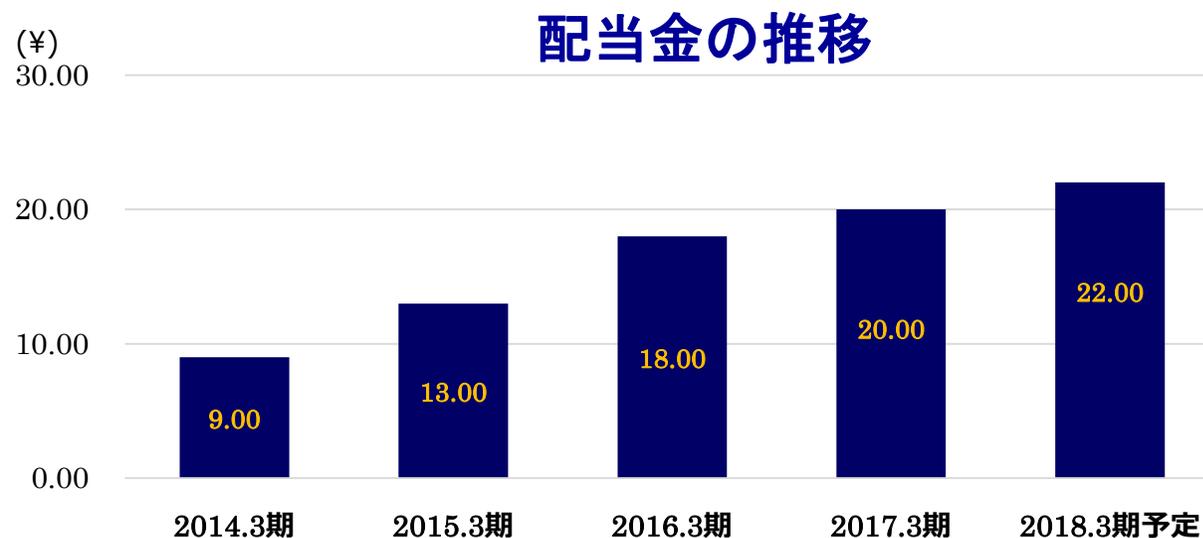
- \* 計測機器：LC・GCが食品安全等で拡大、またMSは東南アジア・韓国で拡大
- \* 医用機器：X線撮影システムが拡大、また血管撮影システムも東南アジアで拡大
- \* 産業機器：大陸への生産移管の影響等で台湾で停滞

単位：億円	中間期		前年同期比増減			
	2018.3期	2017.3期	円ベース		除く為替影響	
			額	率	額	率
計測機器	118	112	7	6.0%	1	1.2%
医用機器	22	17	6	33.1%	5	28.0%
産業機器	22	24	(1)	-5.4%	(2)	-9.9%
合計	164	153	11	7.3%	4	2.5%

## 配当金・配当性向

- \* 中間配当は1株11円を実施、前期より1円増配
- \* 期末配当も1株11円を予定、前期より1円増配の予定
- \* 当期年間の配当性向は、前期より0.4ポイント向上の22.7%の見通し

	2018.3期		2017.3期		前期比
	中間期	期末予定	中間期	期末	年間
一株当り配当金	¥11.00	¥11.00	¥10.00	¥10.00	¥2.00
配当性向	22.7%		22.3%		0.4ポイント増



## 事業環境見通し

<p>日本 1.3%(+0.5pt)</p> 	<p>新素材・高容量電池また生産性向上などの企業の研究開発・設備投資、老朽化設備の更新など社会インフラを補強するための投資など、官民での底堅い需要が見込まれる  <b>〈リスク〉 東アジア情勢の緊迫</b></p>
<p>米国 2.1%(-0.2pt)</p> 	<p>バイオテクノロジー・ヘルスケアなど最先端分野での研究開発の加速、新政権による社会インフラ、エネルギー分野等での投資など安定した需要が見込まれる  <b>〈リスク〉 保護主義的政策の推進、ドル安誘導</b></p>
<p>ユーロ圏 1.9%(+0.3pt)</p> 	<p>景気回復下でのドイツ・フランス等の西側地域で、ヘルスケア・環境・食品安全等の分野での需要が見込まれる  <b>〈リスク〉 ブレグジットやカタルーニャなど、欧州の政治的不安定要因の拡大</b></p>
<p>中国 6.7%(+0.2pt)</p> 	<p>第13次五カ年計画が本格的に始動、安心安全な社会に向けた規制等の投資、学術・産業の高度化を目指した研究開発投資、製薬・CROの民需拡大など旺盛な需要が見込まれる  <b>〈リスク〉 債務超過問題、中国製品との競合激化</b></p>
<p>アジア ASEAN 5.1% (+0.2pt) インド 7.2%(不変)</p> 	<p>東南アジア各国政府による医療福祉等の公共投資、また外資企業による電機・自動車等の設備増強等の投資が見込まれる  <b>〈リスク〉 東南アジアでの政治的不安定化</b></p>

※左欄の各国数字は、2017年7月に公表されたIMFによる2017年GDP成長率予想。カッコ内は年初予想との増減。

## 業績予想

- \* 期初公表を修正、「売上高 +100億円・営業利益 +20億円・経常利益 +15億円・純利益 +15億円」、それぞれ上方修正
- \* 5期連続の増収増益を見込む
- \* 下期も成長投資を行いつつ安定的に業績を確保、新中計初年度の業績を着実に達成

単位：億円，除く営業利益率，EPS		2018.3期計画	2017.3期	前期比増減			
				円ベース		除く為替影響	
				額	率	額	率
売上高		3,650	3,425	225	6.6%	220	6.4%
営業利益		400	371	29	7.8%	29	7.8%
営業利益率		11.0%	10.8%	0.2ポイント改善			
経常利益		395	370	25	6.6%		
親会社株主に帰属する純利益		285	265	20	7.7%		
EPS		¥96.75	¥89.79	¥6.96	7.8%		
期中平均為替レート	US\$	¥108	¥108.43	(¥0.43)	-0.4%		
	€	¥123	¥118.84	¥4.16	3.5%		
為替影響額							
売上高				5			
営業利益				0			

## 事業セグメント別業績予想

\* 計測・医用・産業の売上高・営業利益は、下期・年間共に、期初公表を上方修正

\* 計測機器は、下期の収益性回復を見込む(下期OPMの見込みは、前年同期比1.3pt改善の17.6%)

単位：億円		2018.3期計画		2017.3期		前期比増減		
		額	営業利益率	額	営業利益率	額	率	
計測機器	売上高	2,245	15.8%	2,092	15.8%	153	7.3%	不変
	営業利益	355		331		24	7.4%	
医用機器	売上高	660	3.6%	644	3.0%	16	2.5%	0.6pt. 改善
	営業利益	24		19		5	24.9%	
航空機器	売上高	265	1.1%	267	2.9%	(2)	-0.9%	1.8pt. 悪化
	営業利益	3		8		(5)	-61.3%	
産業機器	売上高	410	8.5%	362	7.4%	48	13.4%	1.1pt. 改善
	営業利益	35		27		8	31.1%	
その他	売上高	70	11.4%	60	11.8%	10	17.1%	0.4pt. 悪化
	営業利益	8		9		(1)	-9.3%	
営業利益調整額		(25)	—	(22)	—	(3)	—	
合計	売上高	3,650	11.0%	3,425	10.8%	225	6.6%	0.2pt. 改善
	営業利益	400		371		29	7.8%	

# 中期経営計画 基本戦略

－事業戦略：「計測」の成長加速，「医用・産業」の収益力強化，「航空」の体質改善－

- 成長戦略：AI・IoT・ロボット・3Dプリンタなどを活用、製品・サービスを高度化  
技術・製品開発への投資は、短期、中長期の両方の視点で強化  
ヘルスケア事業戦略ユニットを新設、『分析-医用融合』で事業を加速
- 収益力強化：中長期的に計測は営業利益率20%以上、他事業は10%以上の実現を目指す
- 事業内容の最適化：各事業について収益力強化を最優先とし、事業・製品を見直す

成長  
収益力

**重点事業**  
【計測】

- 【計測】**
- LC・MSへの重点投資と強化業種の収益力強化
    - 新製品投入：i-Series改良版・PESI-MS
  - 消耗品拡大を含むアフターマーケット事業の拡大
    - 仏試薬会社Alsachim 買収

『分析-医用融合』  
ヘルスケア事業  
戦略ユニット  
(2017.4設立)

**収益改革事業**  
【医用】  
【産業機器】

- 【医用】**
- 治療機種を中心とした製品ラインナップ拡充と海外事業拡大
  - 製品の利益率向上と収益力の高いサービス事業の拡大

**再構築事業**  
【航空】

- 【産業】**
- TMP機種の強化とサービス事業拡大による収益改革
  - 油圧機器の海外業績拡大と製造基盤の強化による収益改革
    - 生産能力増強

- 【航空】**
- 民航事業での成長による安定的な黒字体質の構築
  - 防衛事業の内容見直しと再構築

# 重点事業戦略：2017年度の進捗

## 1. グローバル展開

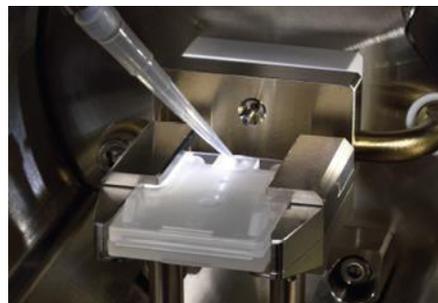
- ① 中国市場での事業体制の強化
- ② グローバル製造体制の強化

## 2. 新製品開発

- ① 計測機器
- ② 医用機器・産業機器

## 3. ESGの取組み

## 4. 企業価値向上の取組み



# 重点事業戦略：1. グローバル展開/ ①中国市場での事業体制の強化

\* 中国での7拠点体制を構築

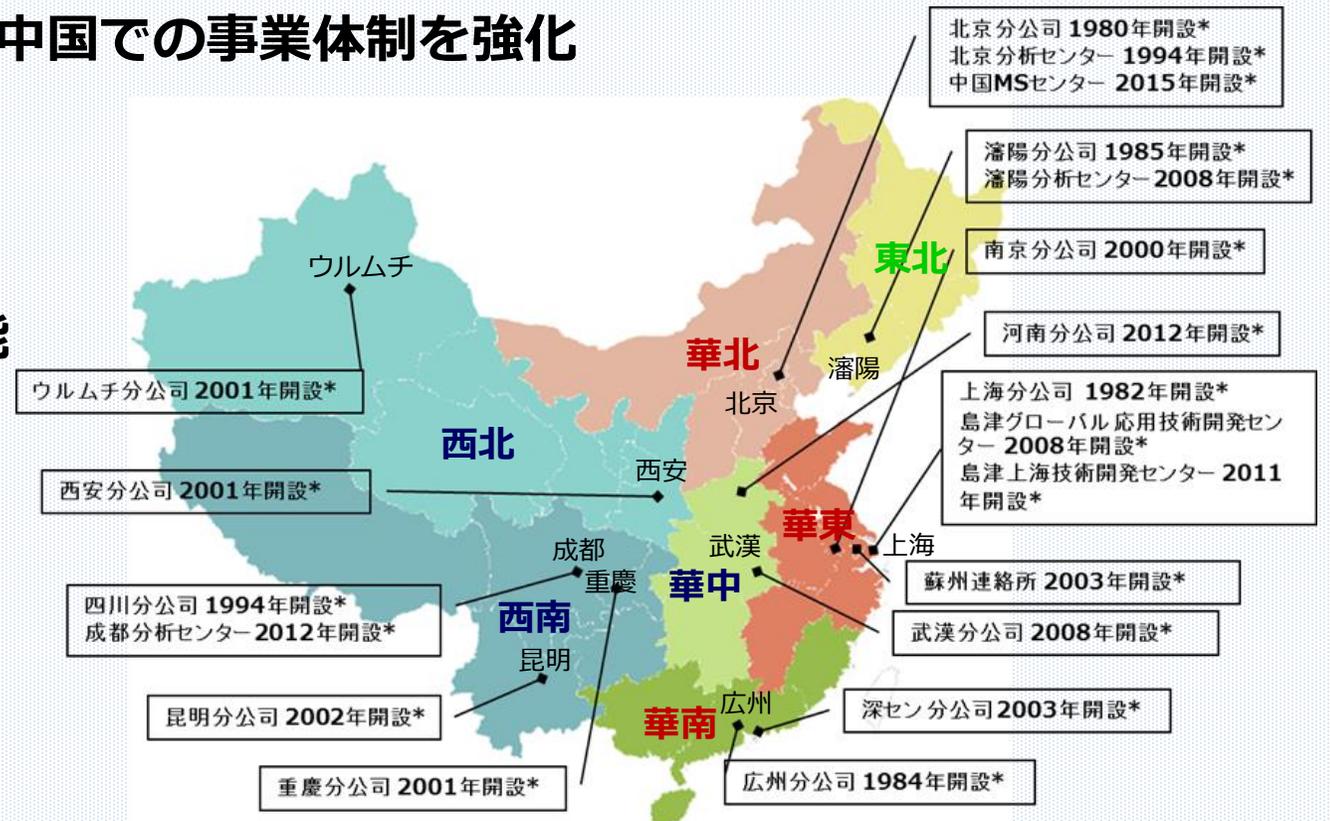
\* 顧客の技術的サポートを担う分析センターを西安市に新設(2018.8)

\* 7拠点体制を構築、高い市場成長が続く中国での事業体制を強化

- 1) 首都・沿岸部：華北・華東・華南
- 2) 内陸・西部：華中・西北・西南
- 3) 東北部

\* 計測機器事業の重要な顧客サポート機能である分析センターを陝西省西安市に新設予定(2018.8)、6拠点体制に  
既設分析センター：上海・北京・広州  
瀋陽・成都

\* きめ細かいネットワークで、中国での事業拡大を加速



## 重点事業戦略：1. グローバル展開/ ②製造体制のグローバル強化

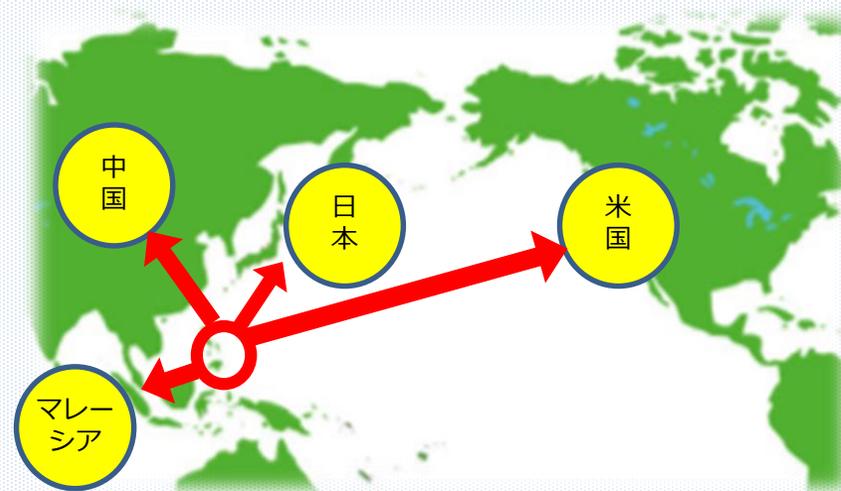
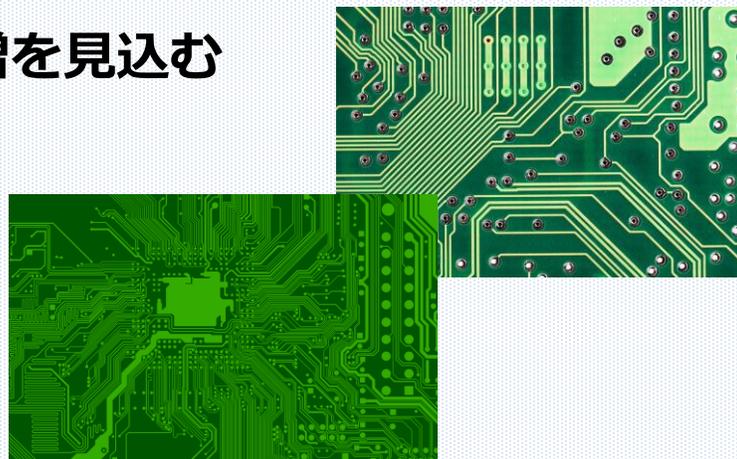
\* 新中計での2020.3期売上高4000億円以上に向けた製造能力をグローバルに構築

\* フィリピン工場では、プリント基板製造ラインを拡充

\* フィリピン工場にて、計測、医用、産業の各機器用のプリント基板製造ラインを増設

\* 日本、中国、北米、マレーシア等の各工場にプリント基板を安定的に供給

\* 生産高は現状の倍増を見込む



## 重点事業戦略：2. 新製品開発/ ①計測機器

- ①新製品：製品ラインナップの強化・拡大（全自動化、新規前処理システム、専用アナライザなど）
- ②既存製品：応用分野の拡大（イノベーションセンターを中心とした外部との共同開発の推進）
- ③ネットワークシステム：（統合ネットワークシステムのコンセプト推進）
- ④アフターマーケット：試薬・消耗品の拡大、サービス事業の強化（マルチベンダーサービスなど）

**LC**



“i-Series Plus”  
8.31発売

**MS**



“DPiMS-2020”  
9.1発売

**MS**



“MALDI-8020”  
10.30発売

**GC**



“Nexgen GC”  
9.6発売

**FTIR**



“IRSpirit”  
10.5発売

**ネットワークシステム LabSolutions**

\* 光分析装置データインテグリティ強化 (8.9発表)



分析データシステム ERVES関連規制対応  
Progress Configuration of LabSolutions System  
**LabSolutions**  
ネットワーク時代の革新的な分析操作環境  
における情報の保全と共有を目的とした  
完全なデータ管理システムを提供します。



**アフターマーケット事業 LabTotal**

\* 試薬・消耗品事業のM&Aも含めた強化・拡充

\* アルザキム試薬・試薬キット・LCカラム・血液前処理デバイス



## 重点事業戦略：2. 新製品/ ② 医用機器・産業機器

- \* 新規製品：製品ラインナップの拡充と新分野の開拓 → “マンモPET”・“高速スパッタリング装置”
- \* 既存製品：シェアの獲得，応用分野の開拓 → “Trinias Unity”・“FLEVAVISION eXceed”
- \* アフターマーケット：メンテナンスサービスの拡充(医用機器 24時間・365日対応，産業機器 TMP 等)

### 医用・CVS



#### “Trinias Unity”

心臓から下肢まで、リアルタイム画像処理技術で血管内治療を強力にサポート。  
10.25発売

フロスト & サリバン社

“2017 Global General Radiography Product Line Strategy Leadership Award” を受賞

### 医用・XTV



#### “FLEXAVISION eXceed”

高画質とネットワーク機能を強化、院内ネットワークとの接続もスムーズに。  
7.26発売

### 医用・マンモPET



#### “Elmammo Avant Class”

痛みをともなわずに高精度な乳がん検査を実現、画質や患者のフィット感を向上。京都大学病院との共同開発  
9.4発売

内閣府「第15回産学官連携  
功労者表彰 厚生労働大臣賞」受賞(9.1)

### 産機・スパッタ



#### “高速スパッタリング装置”

衝突防止などに用いられるミリ波も透過、電磁波透過膜を高効率・低コストに成膜。  
7.24発表

(株)JCU・(株)きもと及び関東学院大学との、共同開発

# 重点事業戦略：3. ESGの取組み

社是や経営理念のもと  
Creating Shared Value の展開



事業を通じた社会課題の解決 (CSV)  
社会の一員としての責任ある活動 (CSR)  
の視点で優先順位を付け

**E：環境**  
CSV

6 安全な水とトイレを世界中に  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任  
17 パートナリシップで目標を達成しよう

**CSR**

13 気候変動に具体的な対策を  
17 パートナリシップで目標を達成しよう

- 分析機器で排水・環境水・環境大気・排ガス規制に対応
- CO<sub>2</sub>排出量の削減 (2019年度)  
省エネ製品によるCO<sub>2</sub>削減量 ≥ 事業活動によるCO<sub>2</sub>排出量
- 地域の生態系や森林保全活動

液体クロマトグラフ 液体クロマトグラフ質量分析計 VOCオンライン測定装置

**S：社会**  
CSV

3 持続可能なエネルギー  
4 質の高い教育をみんなに

17 パートナリシップで目標を達成しよう

**CSR**

5 ジェンダー平等を推進しよう  
8 働きがいも経済成長も

17 パートナリシップで目標を達成しよう

- 食の安全・安心のための品質管理 (有害成分分析, 食品添加物, 産地・品種判別等)
- 早期診断 (乳がん等)
- 女性活躍
- 健康経営

ガスクロマトグラフ質量分析計 液体クロマトグラフ質量分析計 乳房専用PET装置 "Elmammo"

**G：ガバナンス**

取締役会：8名体制 (内社外取締役3名) → 経営の深化スピード化

## 重点事業戦略：4.企業価値向上への取り組み

### 健康経営優良法人 ホワイト500

健康経営

健康経営優良法人 ホワイト500に認定  
(2017.2)



### ハビタット評価認証

環境経営

ハビタット評価の最高ランクAAA評価を取得  
(2015.5)



### FTSE Blossom Japan Index

株価指数

FTSE Blossom Japan Index銘柄に選定  
(2017.6)



### 女性活躍

株価指数

2016年度の「なでしこ銘柄」に選定 (2017.3)  
MSCI 日本株女性活躍銘柄に選定 (2017.6)



### JPX日経インデックス400

株価指数

JPX日経インデックス400構成銘柄に選定  
(2016.8)



### MSCI ESGセレクト・リーダーズ指数

株価指数

MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ銘柄に選定  
(2017.6)



# ご参考/ 計測機器地域別売上高

単位：億円	第2四半期（7-9月）				前年同期比増減			
	2018.3期		2017.3期		円ベース		除く為替影響	
	額	率	額	率	額	率	額	率
日本	239	41.3%	238	46.4%	2	0.7%	2	0.7%
米州	73	12.7%	59	11.5%	14	24.2%	10	16.3%
北米	60	10.3%	52	10.2%	8	14.7%	4	6.9%
南米	14	2.3%	7	1.3%	7	95.5%	6	86.8%
欧州	57	9.8%	47	9.1%	10	21.3%	4	8.0%
中国	128	22.1%	98	19.2%	30	30.1%	20	20.1%
その他のアジア	67	11.5%	57	11.2%	9	16.1%	5	9.1%
その他*	15	2.6%	13	2.6%	2	14.7%	1	5.4%
合計	579	100.0%	513	100.0%	67	13.0%	41	7.9%
海外売上高	340	58.7%	275	53.6%	65	23.7%	39	14.2%

\*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

## ご参考/ 医用機器地域別売上高

単位：億円	第2四半期（7-9月）				前年同期比増減			
	2018.3期		2017.3期		円ベース		除く為替影響	
	額	率	額	率	額	率	額	率
日本	95	54.3%	95	56.8%	(0)	-0.3%	(0)	-0.3%
米州	28	15.9%	30	17.7%	(2)	-6.5%	(4)	-13.2%
北米	23	13.4%	24	14.2%	(0)	-1.7%	(2)	-9.0%
南米	4	2.5%	6	3.5%	(2)	-25.9%	(2)	-30.4%
欧州	8	4.7%	8	4.6%	1	6.6%	(0)	-3.2%
中国	20	11.3%	18	10.6%	2	10.8%	1	3.4%
その他のアジア	12	7.0%	9	5.2%	4	42.1%	3	34.3%
その他*	12	6.8%	9	5.1%	3	38.9%	2	27.3%
合計	174	100.0%	167	100.0%	7	4.3%	1	0.9%
海外売上高	79	45.7%	72	43.2%	7	10.3%	2	2.4%

\*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

## ご参考 / 航空機器地域別売上高

単位：億円	第2四半期（7-9月）				前年同期比増減			
	2018.3期		2017.3期		円ベース		除く為替影響	
	額	率	額	率	額	率	額	率
日本	62	85.1%	55	83.8%	6	11.4%	5	9.7%
米州	9	12.7%	10	15.0%	(1)	-7.2%	(1)	-14.5%
北米	9	12.6%	10	15.0%	(1)	-7.5%	(1)	-14.8%
合計	72	100.0%	66	100.0%	6	9.7%	5	7.0%
海外売上高	11	14.9%	11	16.2%	0	0.7%	(1)	-7.1%

\*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ

## ご参考/ 産業機器地域別売上高

単位：億円	第2四半期（7-9月）				前年同期比増減			
	2018.3期		2017.3期		円ベース		除く為替影響	
	額	率	額	率	額	率	額	率
日本	54	48.5%	46	51.1%	8	16.7%	2	16.7%
米州	15	13.1%	9	10.4%	5	54.9%	10	44.0%
北米	14	13.0%	9	10.3%	5	54.7%	4	43.7%
南米	0	0.1%	0	0.1%	0	95.5%	6	92.5%
欧州	4	3.8%	4	4.6%	0	0.5%	4	-6.7%
中国	27	24.4%	14	15.3%	13	96.7%	20	86.1%
その他のアジア	11	10.1%	14	16.0%	(3)	-22.4%	5	-26.0%
その他*	0	0.1%	2	2.6%	(2)	-93.2%	1	-92.8%
合計	111	100.0%	91	100.0%	21	23.1%	41	19.4%
海外売上高	57	51.5%	44	48.9%	13	29.8%	39	22.2%

\*「その他」：オーストラリア・中近東・アフリカ



**本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。**